

令和の時代に入り、今回はACP支援を3つご紹介いたします

1 花浄院 講演会



葬儀会社の花浄院では、終活などの勉強会として定期的に「友引塾」を開催されています。4月16日にお招きいただいて、ACP（アドバンスケアプランニング～これからの治療やケアに関する話し合い～）についての講演会を行いました。

2025年問題や、2035年に多死社会を迎えることにより、ご自身の逝き方を考え、自分らしく生きぬくことを実現する為にも、ACPが必要になってきているという背景をお伝えしました。その後、もしバナゲームを行

い、自身が最期を迎える時に大切にしたい価値観について考えていただきました。ゲームの後のグループワークでは熱心に話し合いをされ、自身の死生観を振り返り、他者の価値観を知ることで、より広い視点で考えることができたのではないかと感じました。日本人にとって死について考えることは縁起でもないことだという思いが強く、家族などの周りの方と話し合えていない方が大半を占めるというデータもありますが、もしバナゲームをすることで抵抗なく考えるきっかけになると思い、今後も様々な機会



2 介護ほっとカフェ



5月10日の介護ほっとカフェでも「もしバナゲームをしてみよう♪」と題して、終末期の医療やケアについて考える機会をもっていただきました。これからの人生をどう生きていくのか、どこでどんなケアを受けて最期を迎えたいのか、という難しいけれど大切なテーマについて「もしバナゲーム」というカードゲームを通して考えていただき、みなさん明るく、でも真剣な表情でカードを選んでおられました。厚生労働省のデータによると、自宅で亡くなりたいたと考えておられる方が多いのですが、介護ほっとカフェの参加者の多くは病院や施設で亡くなりたいたと言われていました。実際に介護をされておられるからこそ、そのような切実なご意見が多かったのかなと思いました。

介護ほっとカフェは、介護に関するお役立ち情報をお届けし、参加者同士で悩みごとや相談ごとを話し合える時間を大切に、毎月第2金曜日の13:30~15:30に開催しています。みなさまのご参加をお待ちしています☆



3 加古川町管内 介護支援専門員研修



5月30日、「ケアマネジャーによるACPの役割とは」と題して、加古川町管内介護支援専門員研修会を開催

しました。ACPは、医療側と治療方針や受けたいケアなどの打ち合わせをすることであり、もしバナゲームを参加者のケアマネジャー同士で体験し、終末期のご本人の気持ちを体感していただきました。余命6か月と宣告された時、あなたならどんな価値観で余生を過ごしたいですか？初めてゲームをされた方がほとんどでしたが、人それぞれで価値観の違いがくっきりと表れることが興味深く感じられた研修会となりました。業務に活かしていきたいと思っております！！

ふれあいサロン秋桜



サンロイヤル加古川リバーズでふれあいサロン秋桜が立ち上がりました♪ 神戸から転居して来られた方の「皆で集まる会はないの？」との声がきっかけとなりました。“秋桜”の言葉の意味には**1本では弱いけれどたくさん集まると強くなる**との思いが込められています。とっても素敵ですね♡ 毎回18～20名の参加者で「4棟あるマンションで、なかなか会う機会がなかったけれど**サロンで顔見知りになりお話しするようになった**」

とお聞きし、代表のお2人の地道なチラシ貼り・声かけが花を咲かせているものと感じました。

これから満開になりそうな勢いです☆ **毎月第4金曜日の13時～16時**に（お茶・おやつ代200円）

開催です。毎回みなさまで企画し次回は何をされるのか～ワクワク♪笑顔の花もいっぱい咲きそうです☆



認知症サポーター養成講座

6月6日、**但陽信用金庫**で認知症サポーター養成講座を開催しました。毎年、年度初めの恒例行事になりましたが、但陽信用金庫の新入職員研修の一環として、認知症サポーター養成講座を受講していただいています。講師役のキャラバンメイトがATM前で困っている認知症役となって寸劇を行い、新入職員さんに対応していただきました。やり取りに悪戦苦闘しながらも、後ろから大きな声で話しかけず、目を見てゆっくりと**困っておられることに共感していく**対応方法などを学んでいただけました。今年は、**34名**の方が新たに認知症サポーターとして、店頭で**オレンジリング**を身につけて業務に当たられることとなります。



認知症予防教室（オレンジサロン）

今年度から**加古川市総合福祉会館**で開催することになりました！

4月11日に「**認知症の人とともにすごしやすい地域づくりを考える**」と題して**西村医院の地域包括ケア担当の梅谷さん**にお話していただきました！！

「**認知症の方は何も出来なくなる訳ではない**。なぜそうしているのかを考え、怒らず焦らず不安を理解し笑顔になるように対応することで**住み慣れた地域で過ごせることができる**」と熱く語られました。参加者からは「**認知症の方のイメージが変わった**」など感想をいただき認知症について理解を深められたのではないかと感じました。グループホームで生活されている認知症の方々の映像もを見せていただき、溢れる笑顔がとても印象的でした♪



6月13日は「**家族信託って？～もしもの時に備えよう～**」というテーマで、加古川町で事務所を構えておられる、**とみき法務事務所 代表司法書士・行政書士の富木敬太先生**にご講話いただきました。最近メディアでもよく取り上げられていますが、なぜ今「**家族信託なのか？**」認知症の方が増えていく現状の中、事例をあげていただき難解な法律をととてもわかりやすくご説明いただきました。

参加者のみなさまも大変興味をもたれ、もしもの備えとしてお役に立てたのではないかと感じております。

オレンジサロンは**毎月第2木曜日の13:30**から開催しています！ご参加お待ちしております☆



加古川町内 介護支援専門員事例検討会



4月19日、加古川市総合福祉会館にて「**危機管理が困難な認知症高齢者の対応について**」と題して事例検討会を開催し、事例提供者と検討者として、**21名のケアマネジャー**が集まり、電動カートの導入とやめ時について話し合いました。電動カートは自転車にかわる移動手段として、介護保険の福祉用具でのレンタルが可能ですが、ブレーキ、アクセルの操作が

必要であるため、判断能力の低下がみられる場合、運転免許を手放す時と同様に**利用中止するときの見極めやルールづくり、手放す際の話し合い**が重要だということがわかりました。レンタルを開始する時にやめ時のことを話し合っておくことや、事故を起こす前に安全な操作ができているか振り返ってみることを共有できました。